

## 株式会社 毎日放送

# テレワーク、VPN 利用者の拡大に伴い 高まるセキュリティリスクへの対応として 全 VPN ユーザに多要素認証を導入

近畿広域圏を放送対象地域としてテレビジョン放送事業を行う株式会社毎日放送（以下、毎日放送）。今回、COVID-19 感染拡大を期に急増した VPN 利用者のなりすまし、不正利用などのセキュリティリスクの低減を目的に、全 VPN 利用者に Cisco Secure Access by Duo による多要素認証を導入。テレワーカーのセキュリティを強化し、いつでも、どこでも安全に業務できる環境整備を実現しました。

### 株式会社 毎日放送

**設立**  
2016 年 7 月 28 日  
認定放送持株会社への移行に伴い、  
2017 年 4 月 1 日付けで、  
「毎日放送分割準備株式会社」から  
「株式会社毎日放送」に商号変更。

**資本金**  
1 億円  
(MBS メディアホールディングス 100% 出資)

**社員数**  
630 人 (2022 年 1 月 1 日現在)

**代表者**  
代表取締役社長 虫明洋一

**所在地**  
本社 大阪市北区茶屋町 17 番 1 号  
支社支局 東京支社、名古屋支局

**事業内容**  
放送法による基幹放送事業 (テレビ放送)  
放送番組の企画、製作ならびに販売 ほか

**URL**  
<https://www.mbs.jp/>

近畿広域圏を対象としてテレビ放送事業を展開する毎日放送。2021年4月に情報システム部をDX推進部と改称し、社内では番組制作と放送にまつわるさまざまな業務のDXプロジェクトが同時進行しています。

## 課題

- ・ パンデミック対策としてテレワーカーの範囲が広がり、VPN利用者が急増
- ・ なりすましや不正利用など、セキュリティへの懸念が高まる

## ソリューション

- ・ DuoはADとの同期が簡単、ユーザをADで一元管理できることで社内展開も容易
- ・ アペンドモードでユーザのシンプルな操作性を実現

## 結果

- ・ 扱うシステムにかかわらず安全なテレワーク環境を整えるため、全VPNユーザ(約650名)をDuoによる多要素認証に移行
- ・ テレワーク環境からの安全な社内システムの利用が可能に

## 今後

- ・ Duoの豊富な連携性により他サービスへの適用および、SSOなどユーザの利便性と安全性を高めるサービス提供を検討

テレワーク拡大で高まる  
セキュリティリスクへの  
対策として、  
Duoによる  
多要素認証の実現に  
踏み切りました。

## 鈴木 優介

株式会社毎日放送  
経営戦略局  
DX推進部 副部長

## 課題

経営戦略局 DX 推進部 副部長の鈴木優介氏は、今回のプロジェクトの背景を次のように話します。「当社はこれまで Cisco AnyConnect による VPN を利用していましたが、社外を拠点に取材する報道記者や長期出張者など、一部の限られたユーザが対象でした。2020 年初頭からの COVID-19 感染拡大への防止対策として、全社的なテレワーク環境整備を推進し、希望する社員とスタッフ全員が、社外から VPN で社内システムを利用できるようにする必要がありました。加えて、放送局には独特の基幹システムとして放送に関わる CM 契約情報、番組情報、放送運行データなどを管理する『営放システム』が存在します。事業の継続性を維持するには、このシステムも社外から安全に利用できるようにする必要がありました。利用者が急増したことで VPN のなりすまし、不正利用といった潜在的なセキュリティリスクが高まる懸念があり、セキュリティ強化策として多要素認証の導入を検討しました。」

数ある多要素認証ソリューションの中からシスコを選択した理由を鈴木氏は、次のように話します。「当社は従来から Cisco ASA と Cisco AnyConnect による VPN、認証サーバとして Cisco Identity Services Engine (ISE) を利用しています。これら既存構成への組み込みやすさはもちろん、社内ユーザの多くが Cisco AnyConnect の VPN 操作に慣れているため、親和性に期待して Cisco Secure Access by Duo (以下、Duo) を第一候補に検討しました。実際にトライアルでこれまでの VPN とほぼ同じ操作で多要素認証が行えると確認できましたので、あえて他社製品を選択する必要は感じませんでした。加えて、Duo がクラウドサービスであり、導入時にハードウェアを購入する必要がなく、納期や保守費用の面でも当社のニーズに合致しました。」

## 既存セキュリティ構成への 組み込みやすさと ユーザの使いやすさから、 Duo 以外の選択肢は ありませんでした

### ソリューション

同社は 2021 年 1 月、まずは情報システム部メンバー 10 名による無償トライアルを開始。その後、本番環境の構築、詳細な認証・認可ポリシーの動作検証、展開マニュアルの整備などをすべて内製で実施。その間、シスコの技術スタッフと設定や活用方法についての Web ミーティングを重ねました。

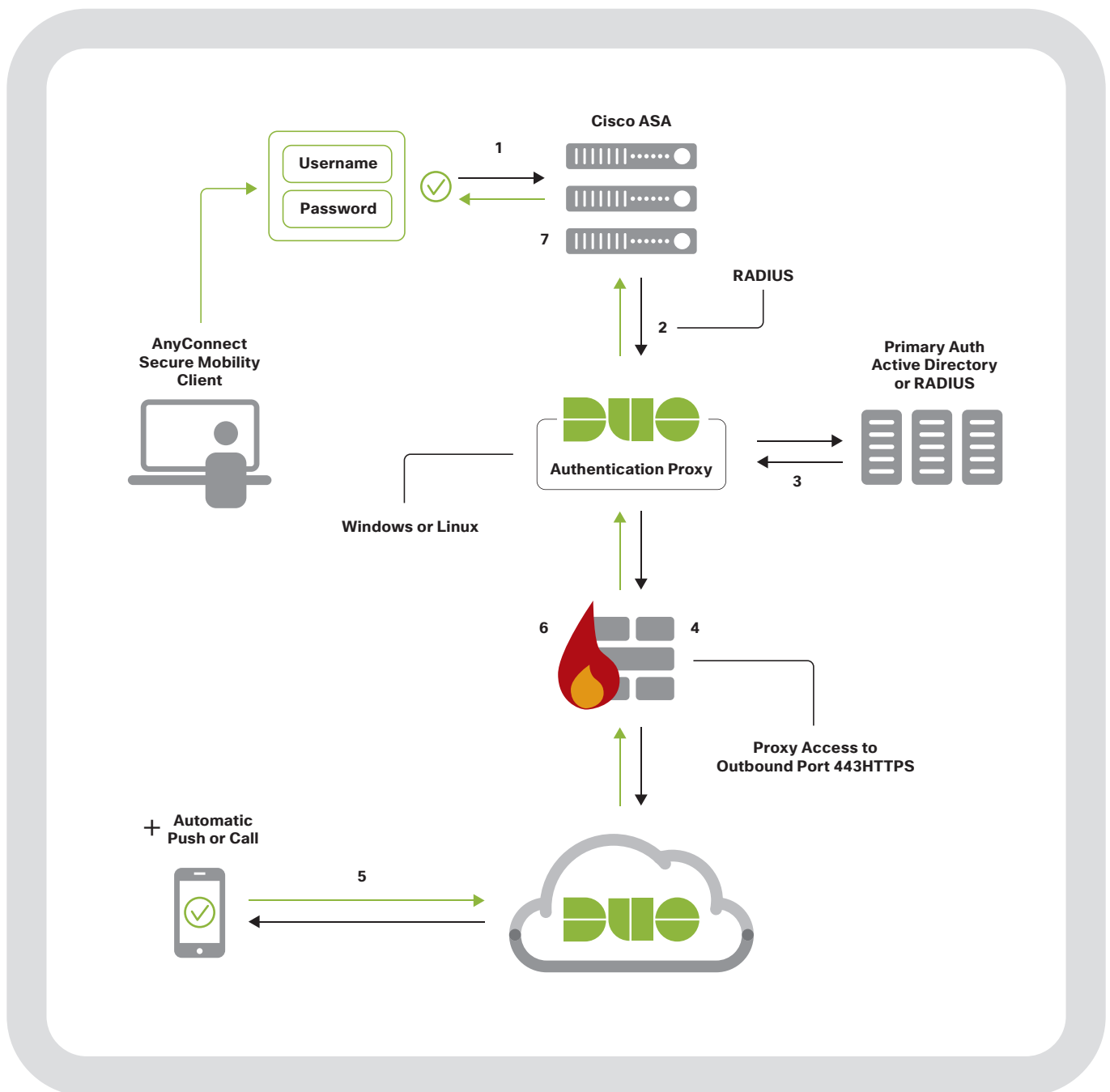
#### AD との同期が簡単、 ユーザを AD で一元管理できる

鈴木氏は Duo の AD (Active Directory) との同期のしやすさと、ユーザ管理を AD で一元化できる点が社内展開上、非常に効果的だったと話します。「当初は Duo へのユーザ情報登録は手動または CSV インポートを想定していましたが、AD 連携機能が使えることを知りました。オンプレミスの ASA、ISE、AD とクラウドの Duo を安全に中継する役割である Duo Authentication Proxy (DAP) を構築後、AD 連携機能を使うことで同期が非常に簡単でした。Duo と AD を同期することで AD 上の各ユーザが所属するセキュリティグループを切り替えるだけで、多要素認証の利用有無を制御できます。全ユーザを一気に切り替えてしまうと、急に VPN 接続が使えなくなった、やり方が分からないといったヘルプデスクへの問い合わせが集中する懸念がありましたので、切り替え希望日時を各ユーザにヒアリングしながら、段階的に社内展開を実施しました。パンデミック対応の観点から、極力対面を減らしてユーザと DX 推進部員、ヘルプデスクがテレワークで対応していることもあり、簡単な切り替え、問題があれば切り戻せる、移行ステータスも簡単に把握できることは、とても重要なことでした。」

### アペンドモードでユーザの シンプルな操作性を実現

鈴木氏は DAP を構築するメリットとして、アペンドモード（自動プッシュモード）が使えることを挙げます。「トライアルでは DAP 不要の ASA SSL VPN using LDAPS 方式でしたが、この方式ではユーザが VPN 利用時に毎回、ID、パスワード、セカンドパスワード（第二要素の指定）の 3 つを入力する必要があり、ユーザの利便性低下、セカ

ンドパスワード忘れの懸念がありました。本番環境で DAP を構築した後は ASA SSL VPN using RADIUS 方式となり、Cisco AnyConnect で ID、パスワードを入力するだけで、スマートフォンに二要素認証のプッシュ通知が届きます。セカンドパスワードの入力が不要となり、ユーザエクスペリエンスの向上につながりました。」



## 結果～今後

同社は 2021 年 8 月より社内展開を開始。扱うシステムにかかわらず安全なテレワーク環境を整えるため、全 VPN ユーザ(約 650 名)を、Duo による多要素認証に移行しました。詳細な利用開始マニュアルと FAQ を整備したことも功を奏し、端末固有の事情などでうまくプッシュ通知が届かないなどのトラブルを除き、大きな混乱はなく社内展開されたとのこと。

「当社ではメールやチャットなどコミュニケーションツールはクラウドサービスを利用しており、テレワーク時もインターネット環境があれば常時利用可能となっています。一方でオンプレミスのシステムについては、必要に応じて VPN 接続した上でアクセスする使い方をしています。外出の多い報道記者に加えて、一般ユーザも VPN 利用対象とし、勤怠管理、経費精算などの一般事務作業をテレワーク環境でも社内と同様に行えるようになりました。さらに事業継続性を高めるべく、従来は社内でのみ利用可能であった営放システムも時限的に対象としています。ユーザ所有のスマートフォンでも各種クラウドサービスを利用できる BYOD が社内でかなり浸透していましたので、Duo Mobile アプリはユーザ所有のスマートフォンにインストールして、多要素認証のプッシュ通知の送信先としました。」(鈴木氏)

今後について鈴木氏は、Duo の豊富な連携性に期待を寄せています。「今後は Duo の連携性を活かし、VPN 以外のサービスにも多要素認証を適用できないか模索しています。また、SSO (シングルサインオン) 機能も活用して、デバイス管理のセルフサービス化など、ユーザの利便性をさらに高めたい。当社が毎年 12 月に開催する『サントリー1万人の第九』コンサートを Webex で世界中の方々とながらイベントとするなど、シスコとは長年にわたってよい関係性を築いています。今後もシスコには、使いやすく安全なソリューションの提供に期待しています。」

### その他の詳細情報

Cisco Secure Access by Duo の詳細は、  
<https://www.cisco.com/jp/go/duo> を参照してください。



株式会社毎日放送  
経営戦略局  
DX 推進部 副部長  
鈴木 優介 氏



毎日放送は 1951 年に前身の新日本放送が全国初の民間放送として開局して以来、70 年あまりにわたってラジオ、テレビ、CS 放送を中心としたメディア事業を展開する MBS グループの中核企業です。全国ネット番組では「プレバト!!」「情熱大陸」などの人気番組があるほか、平日午後の「よんチャンTV」など関西ならではの地域に密着した番組づくりに定評があります。地上波のみならず、配信などあらゆる媒体で楽しんでいただくことのできる強いコンテンツを発信し続けています。

URL <https://www.mbs.jp/>

## 製品 & サービス

- Cisco Secure Access by Duo (MFA プラン / 1,000user)
- Cisco ASA
- Cisco AnyConnect
- Cisco Identity Services Engine (ISE)

## シスコ コンタクトセンター

自社導入をご検討されているお客様へのお問い合わせ窓口です。  
製品に関して | サービスに関して | 各種キャンペーンに関して | お見積依頼 | 一般的なご質問

### お問い合わせ先

#### お電話での問い合わせ

平日 10:00-12:00, 13:00-17:00  
0120-092-255

#### お問い合わせウェブフォーム

[cisco.com/jp/go/vdc\\_callback](https://cisco.com/jp/go/vdc_callback)



©2022 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.  
Cisco, Cisco Systems, および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における商標登録または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R) この資料の記載内容は 2022 年 1 月現在のものです。この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー  
<http://www.cisco.com/jp>